

第7回“木の家づくり”から林業再生を考える委員会資料

## 地域材を利用した木造仮設住宅について

平成23年5月31日

国産材製材協会 佐川 広興

# 【応急仮設住宅】木造軸組板倉工法 (社)福島県大工業協会

## ■設計コンセプト

**<居住性>…自然素材の建物**  
仮設住宅とは、快適に暮らせるよう、壁材を杉板30mm2重張りとし遮音性、断熱性に優れた構造としました。また、各住戸を600mm離すことによって近隣間でのプライバシーにも配慮しています。居住者は、木材を多く使用した建物のなかで、木の持つぬくもり、香り、安らぎを感じることができ、木材のもつ調湿作用により結露・カビを抑制することができます。

**<作業性・再利用性>…木材のパネル化**  
現在、仮設住宅は一刻も早い建設が求められており、木造であってもプレハブ同様の建設速度が求められます。そのため、壁・床・天井をパネル化し効率的な作業を進められる木造軸組板倉工法としました。また、解体時はパネルを外すことで容易に作業を進められ、最利用も可能な構造です。

**<環境の配慮>…林業の活性化**  
板倉工法は県産材を多く使用します。県内の林業が活性化し、CO2削減等、地球環境にも貢献出来る工法です。

## ■設計概要

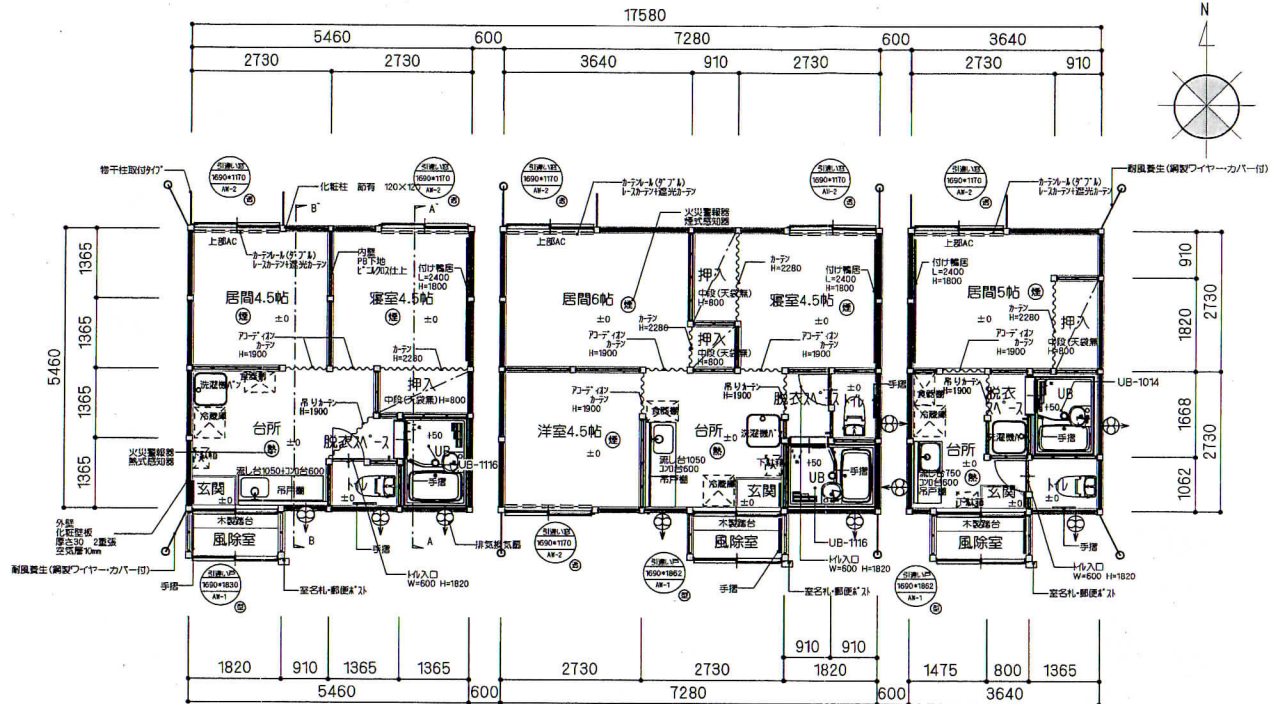
設計概要	
構造	木造軸組板倉工法
基礎	木杭(直径75mm)
外壁	杉板KD材 厚さ30mm2重張り(空気層10mm+断熱シート)
外部開口部	引き違いアルミサッシ窓 透明ガラス 厚さ3mm 網戸付
屋根	折板t=0.6mm(M-7) ヲ+8B)
破風板	木下地+ガ+鋼板厚さ0.35mm
玄関上り口	木製踏台 1800×300
板金工事	軒樋・笠樋は別途とする。

## ■設備概要

設備		
給排水衛生設備	給水	:原則として水道用硬質塩化ビニル管(量水器は別途)又は同等品 流し前水栓は原則、ツグムルバ-ゲイフ混合水栓とする
	汚水排水	:原則として一般用硬質塩化ビニル管とする(放流形式は地域指導に 準ずる)
	ガス	:J-GAS又は都市ガス供給で住戸毎の集中配管とし白ガス管とする ガス漏れ警報機及びマイコンメータ設置
	給湯設備	:浴室用16号(J-GAS)又は都市ガス、給湯箇所は流し台、浴室とする
電気設備	換気	:原則として流し前はプロペラ扇(羽根25cmフード付)
	火災警報器	:各居室(煙式)、台所(熱式)を設置する(大臣認定SA-551)
	工事範囲	:屋外1mまで(J-GAS)は集合装置を含む)
	幹線	:単相3線式100V30A引込みケーブルM6戸毎CV22~38 -3C
	照明器具	:居室はFL40W×2またはFL20W×3、台所はFL20W×2、トイレは1L40W、 入口灯はFL10W
	コンセント	:居室(4.5帖)は2連2ヶ所、台所は2連2ヶ所、冷蔵庫用2連E付1ヶ所、 換気専用各処1ヶ所、洗濯機用2連E付1ヶ所、屋外給湯器用外部に防 水2連E付1ヶ所、汲取り便所は外部に防水コンセント1口E付1ヶ所(屋外給 湯機用と兼用可)、エアコン用(居間に設置)・電子レンジ用・ガス漏れ警報 機用のコンセント(2連E付1)設置
スイッチ	:エントランス内照明器具SWと換気扇SWは別個設ける	
TEL	:別途工事	
スリーブ	:別途工事(エアコン用75φ TEL用20φ)(居間に設置)	
TV	:居間にTV端子1ヶ所/1戸	
工事範囲	:屋内工事のみ	

## ■仕上概要

室内仕上表	室内天井高さは2400mm(浴室はエントランス仕様による)				
室名	床	巾木	外廻壁	間仕切壁	天井
居間・寝室	杉板厚さ30mm2重張り(空気層10mm+断熱シート)下地+タイルカーペット厚さ6mm	木製	杉板厚さ30mm2重張り仕上(空気層10mm+断熱シート)	PB9.5mm下地+2重張り仕上	杉板厚さ30mm2重張り仕上+防湿気密シート+グラスウール10k100mm
押入	〃	〃	〃	〃	〃
台所	杉板厚さ30mm2重張り(空気層10mm+断熱シート)+合板4mm+クッションフロア2mm	〃	コンクリート仕上げ+酸欠防止板6mm	〃	〃
浴室	浴槽+洗面器タイル風呂蓋付 各種仕上はエントランス仕様による	〃	※浴室下部床は杉板厚さ30mm2重張り仕上(空気層10mm+断熱シート)		
トイレ	杉板厚さ30mm2重張り(空気層10mm+断熱シート)+合板4mm+クッションフロア2mm	木製	杉板厚さ30mm2重張り仕上(空気層10mm+断熱シート)	PB9.5mm下地+2重張り仕上	杉板厚さ30mm2重張り仕上+防湿気密シート+グラスウール10k100mm
玄関	〃	〃	〃	〃	〃



<2DK> 29.81㎡      <3DK> 39.75㎡      <1DK> 19.87㎡

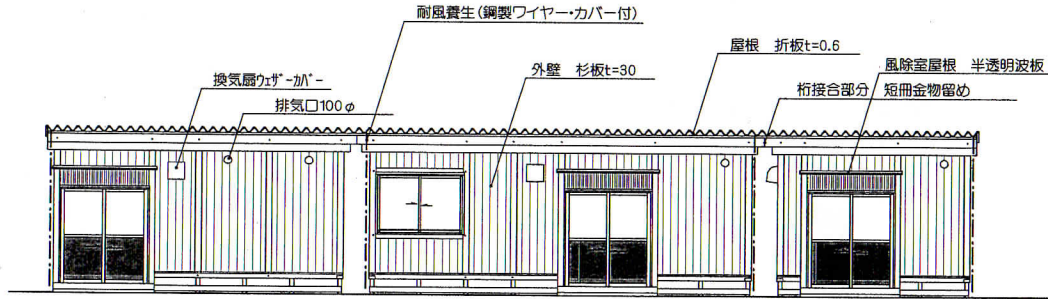
■平面図 縮尺 1/100

特記事項	・出入口の床段差をなくす。構造上やむおえず生じる段差は180mm以下とし、手摺を取付ける。 ・使用する建材はすべて耐火性能が防火等級(☆☆☆☆)以上を使用する。		・トイレ洋式便座横に手摺を取付ける。
------	---	--	--------------------

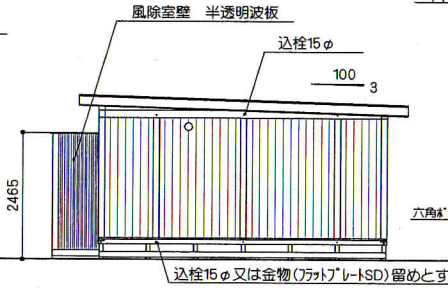
備品	・郵便受 各住戸 一ヶ所設置	・風除室 1800×900	・室名札:各住戸1ヶ所設置
	・標番号 各棟一ヶ所設置	・物干 柱取付タイプ 折りたたみ式 FLより1600高さ	・消火器:長屋1ヶ所設置(粉末10型JF-M箱)



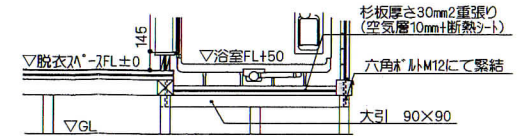
# [応急仮設住宅] 木造軸組板倉工法 (社)福島県大工業協会



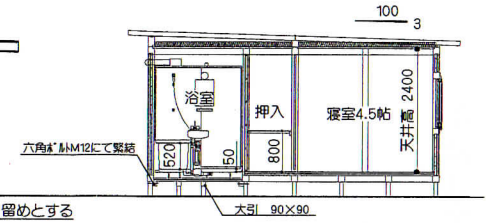
■南面立面図 縮尺 1/100



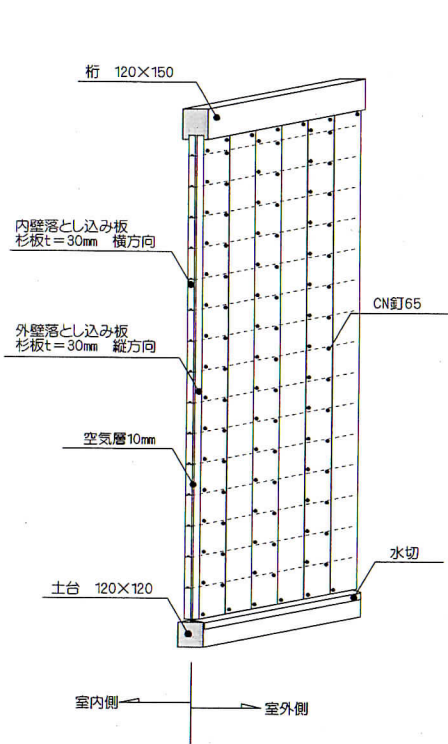
■東面立面図 縮尺 1/100



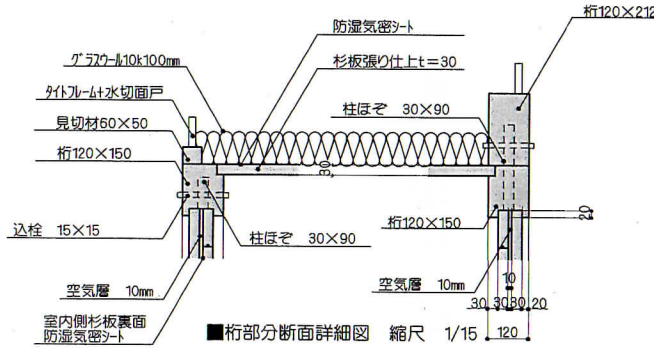
■浴室下部断面図 縮尺 1/40



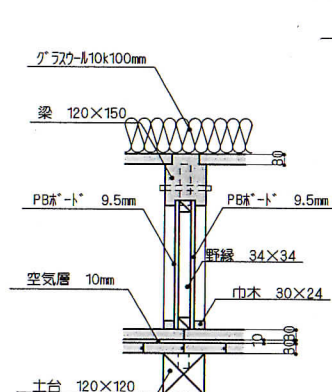
■A-A断面図 縮尺 1/100



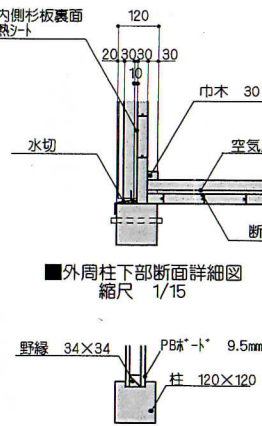
■外周壁詳細図 縮尺 1/25



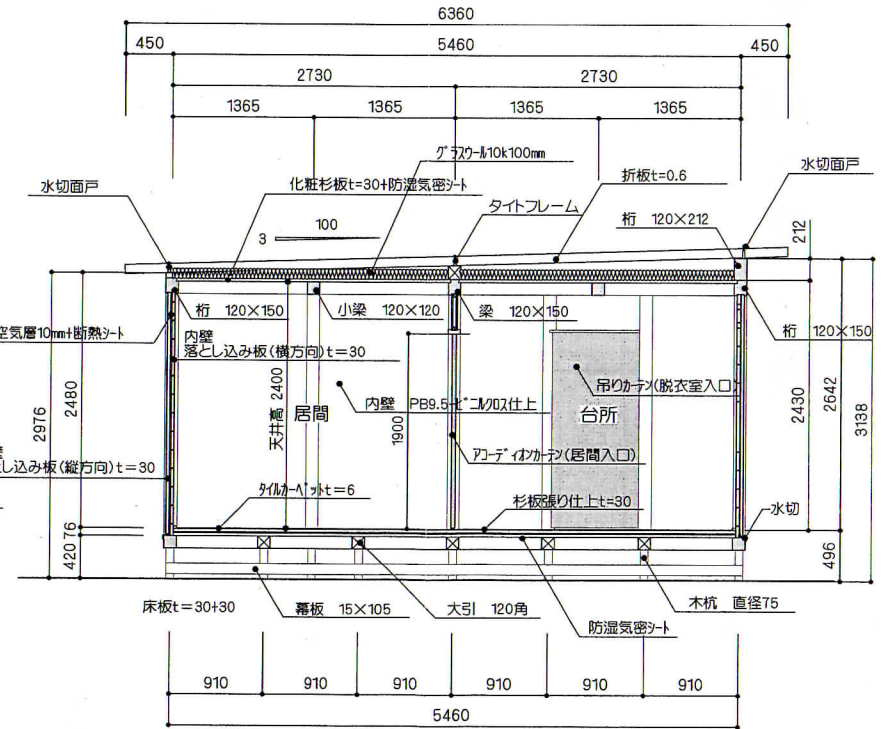
■桁部分断面詳細図 縮尺 1/15



■内部間仕切壁断面詳細図 縮尺 1/15



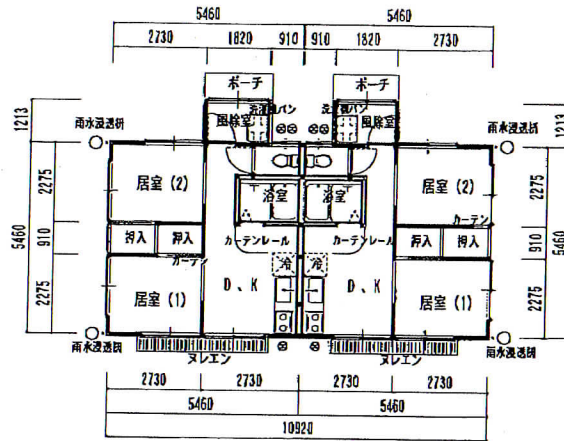
■内部柱平面詳細図 縮尺 1/15



■B-B断面図 縮尺 1/50

菅野建築設計事務所 〒964-0201 福島県二本松市戸沢字馬場29-2 Tel. 0243-46-3566 Fax 0243-46-3584	一般建築士事務所 知事登録第11(304)2104号 管理建築士 菅野竜也 一般建築士 第321866号	工事名称 応急仮設住宅・木造軸組板倉工法	図面名 立面図・断面図・詳細図	scale 1/100	date 23・5・18	No. 2
---	---	-------------------------	--------------------	----------------	-----------------	----------

# [応急仮設住宅] 木造軸組工法



平面図 1/150

床面積 1世帯当り 住宅本体 30.79㎡ + 図録室 2.20㎡ = 32.99㎡  
 9.0坪 + 0.66坪 = 9.66坪



玄関側見付き図

妻面側見付き図

ヌレエン側見付き図

外部仕上表	屋根	兵尺カラー鉄板 t=0.35 換気き アスファルトルーフィング(又は防水透湿シート) 下置き
	軒裏	カラー鋼板 t= 0.35 田間アルミバンチングメタル (透気用軒天)
	雨樋	軒樋 カラー樹脂製製品 105φ 縦樋 カラー樹脂製 50φ
	外壁	杉鍍甲板 t=12 張り (防水透湿シート下張り)
	基礎	径丸太杭 120φ程度 外周、内部間仕切り下 910φ 床パネル受け 1820φ以内
	サッシ	住宅用アルミサッシ (内付けタイプ) 通明ガラス4.0*、型紙 4.0*、アルミパネル 鋼戸
	ポーチ	コンクリート金網仕上げ
	ヌレエン	床石コンクリート 床、大引き 90×90 床 105×21 (6%目透かし)
	断熱材	床下 グラスウールボード 43ミリ 外壁、天井裏 グラスウール (10%密度) 50*
	図録室	屋根 塩ビ波板 (半透明) 壁(内側) 塩ビ波板裏面、木製脚柱、副柱下地表し 壁(外側) 塩ビ波板 (中間部取外し可) 床 コンクリート金網 洗濯機パン
その他備品	既製品郵便受け 換気し金物 (折畳み式) 裏札 (1枚) 小型合併浄化槽 各種 1種	
備考		

## 内部仕上表

階	室名	床高	天井高	床	巾木	壁	天井	廻縁	備考	
1	玄関、廊下	Q.1450	2400	構造用合板12*、貼リパネル t=4*、雨水合板下地 住宅用クッションフロア一貼り	水質級製品巾木 H=57	化粧石膏ボード t=8.5 (化粧ホック付ホネ止止め)	耐水合板2.5*、パネル	木製 H=10		
	D, K	Q.1450	2400	同上	同上	同上	同上	同上	流し台、コンロ台、吊戸棚、2口コンロ 換気扇 200φ	
	居室 (共通)	Q.1450	2400	構造用合板12*、貼リパネル t=4*、雨水合板4*、下地 タイルカーベット貼リ	同上	ガスレンジ前はケイカル板4*、上貼り	同上	同上	アコーディオンカーテン (建具の代わり) カーテンレール、カーテン (レース+遮光) 巾置、枕置、カーテン (建具の代わり)	
	押入 (共通)	Q.1450	2400	同上	同上	化粧石膏ボード t=8.5 (化粧ホック付ホネ止止め)	同上	同上		
	W, C	Q.1450	2400	構造用合板12*、貼リパネル t=4*、雨水合板4*、下地 住宅用クッションフロア一貼り	同上	同上	同上	同上	洋式便器 (手洗いロータンク付)、ペーパーホルダー 手磨、タオル掛け、パイプファン100*, シャワーセット、暖房扇	
	浴室 1115	U.B 仕様による	U.B 仕様による	同上	F.R.P ユニットバス仕様による	F.R.P ユニットバス仕様による	F.R.P ユニットバス仕様による	同上	手磨 (内巻1ヶ所)、天井換気扇	
	その他									
	給排水、給湯設備 ガス、空調設備				プロパン又は都市ガス (各戸毎) 給湯設備 プロパン又は都市ガスによる ガス給湯機 15号 (浴室、台所)	洗濯機パン (FRP)	流し台 公団製程度 5坪タイプL=1500 5坪、12坪タイプ L=1650 吊戸棚 t=600 2口×1200 (グリル付)	便器 洋式 (手洗い付ロータンク型) ペーパーホルダー、タオル掛け、手磨 壁掛け型ルームエアコン		
	電気設備				分電盤 単相3線式-30A					火災警報器 台所 (熱式) 居室 (熱式) 接地付コンセント 冷庫庫、洗濯機、電子レンジ、エアコン用
					屋内照明 図録室、玄関、D, K、居室、W, C、浴室	防犯機 1棟 2灯	一般コンセント 台所、居室 (各室2ヶ所)		その他のコンセント ガス漏れ警報器、換気扇、給湯機	TEL 通信用スリブ TVアンテナ 各棟1ヶ所 TV端子 各戸1ヶ所

(工事名)

福島県応急仮設住宅建設事業

(図面名)

9.0坪タイプ 平面図 立面図  
内外仕上げ概要書 (6 9 12坪 共通)

(縮尺)

1/150

(作図年・月)

2011.04

(設計者)

一級建築士事務所 福島県知事登録 第13 (107) 0174号  
**藤田建設工務株式会社** 一級建築士事務所  
 (管理建築士) 一級建築士 第123126号 高橋 幸吉  
 〒963-6131 福島県東白川郡楳倉町字南町20番  
 TEL 0247 (33) 2281 FAX 0247 (33) 9461

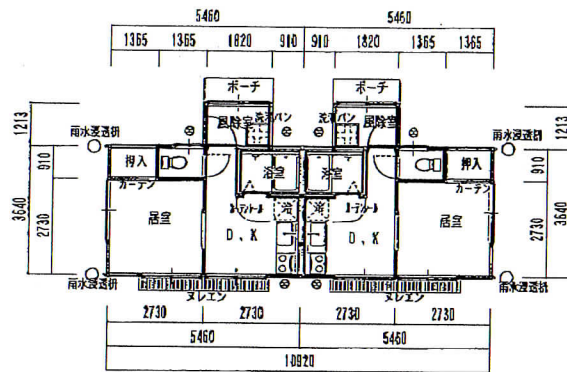
作図

高橋

図面 No.



# 【応急仮設住宅】木造軸組工法



平面図 1/150

床面積 1世帯当り

住宅本体 19.87㎡ + 2.20㎡ = 22.07㎡

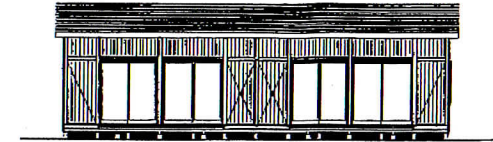
6.0坪 + 0.66坪 = 6.66坪



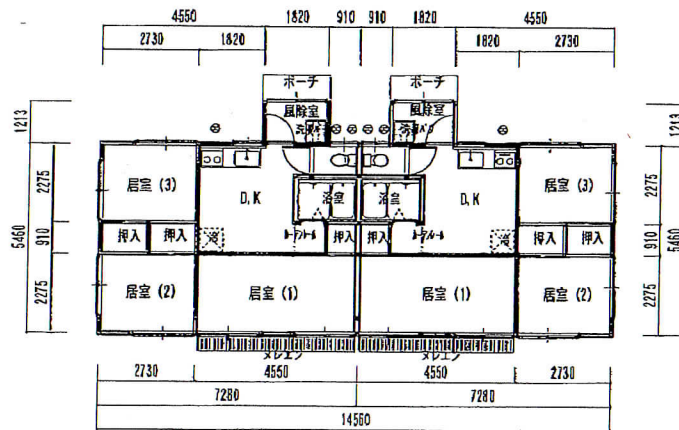
玄関側見付き図



妻面側見付き図



ヌレエン側見付き図



平面図 1/100

床面積 1世帯当り

住宅本体 39.74㎡ + 風除室 2.20㎡ = 41.94㎡

12坪 + 0.66坪 = 12.66坪



玄関側見付き図



妻面側見付き図



ヌレエン側見付き図

(工事名)

福島県応急仮設住宅建設事業

(図面名)

6.0坪タイプ 12.0坪タイプ

計画概要図

(縮尺)

1/150

(作図 年、月)

2011.04

(設計名)

一級建築士事務所 福島県知事登録 第13 (10) 0174号  
 藤田建設工業株式会社一級建築士事務所  
 (管理建築士) 一級建築士 第123126号 高橋 幸吉  
 〒963-6131 福島県東白川郡棚倉町字南町20番  
 TEL 0247 (33) 2281 FAX 0247 (33) 9461

(作図)

高橋

(図面地)

# 【応急仮設住宅】ログハウス工法

## ■ログハウス仮設住宅のメリット

【避難生活での快適性をつくる】

避難生活が長期間になることも予想され、住み心地、快適性に関して、定評のあるログハウスを仮設住宅に応用することで、被災者達のストレス軽減に役立てたいと考えています。床面、壁面という生活の上で手に触れる機会の多い部分には木材を他用する様にします。

【簡易な施工性】

外壁材・内壁材、構造材、断熱材を兼ねるものであり部材数が少ない。工場生産の部材の多いマシンカットログハウスを使用し、現場での建設を容易にする。仕上工程の少ないログハウス工事は仮設住宅供給をスピーディに行える。また、現場指導が付けば未経験者でも組み立てに参加できる事は雇用促進につながる。

【原産材の利用と林業の活性化】

木材使用は通常の在来軸組工法と比較しても2~3倍となり、最も木材を多く使用する壁面では、大部分を県産材で供給する事で、地元林業にも貢献できる。

【解体後の再利用】

被災生活が終了した際には、ログの壁面に関してはほぼ100%が、移築が可能である。ログ部材を新たに追加することで、間取り変更した移築にも対応が可能である。

また、再加工による2次利用等にも可能性がある材料である。

移築した場合はログ材という建物の可能性から、クラインガルデンのラウベとする利用や、2地域居住における別荘、キャンプ場のコテージ等の転用も可能性がある。

また部材としての保管の形態としても優れている。

## ■設計コンセプト

【ログハウスの特性を生かした間取り】

プランについてはプレハブ協会の一般的な間取りを基本としながら、ログハウスの特徴を生かした構成としている。

【ログ材の断熱・蓄熱性能を生かす】

壁は木材厚み111mm以上の材料を使用する。床と天井の断熱と合わせて福島仕様同等以上の断熱性を確保する。また、ログハウスの壁の蓄熱性は冷暖房効率を向上させる。またグラスウールの資材不足も考えられるが、床・天井の断熱材をジェットファイバーとする事で、グラスウールを極力用いない工法とすることもできる。

【工期の短縮】

屋根は折板屋根で、建設費用と工期を短縮する。屋根勾配は落雪を考慮して、1.2寸勾配としている。雨側への落雪とし、玄関側への雪の滞留を少なくする。

【被災者への対応】

被災された方は、多くの荷物を仮設住宅へ持ち込む事も考えられるために、小屋裏収納タイプも提案している。屋根の断熱方法を変更する必要があるため、天井断熱から屋根断熱に変更し、仕上はアスファルトシングル葺きとなる。(オプション対応)

## 福島県応急仮設住宅標準仕様書

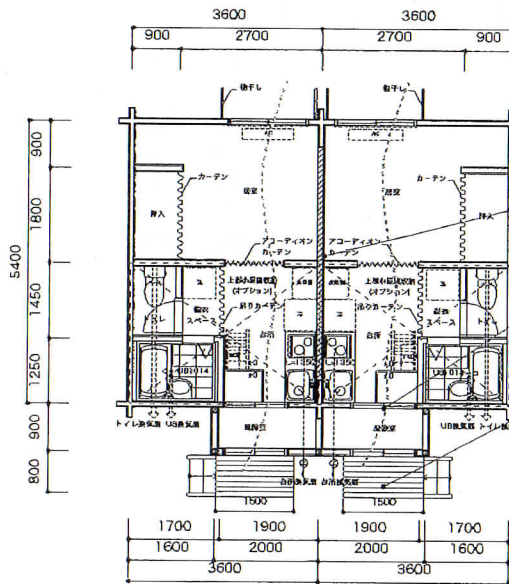
基本事項	設計概要				室内仕様書				
	床	巾木	期仕切壁	天井	備考				
<b>供給タイプ</b> : ・ 20㎡タイプ(1DK) ・ 30㎡タイプ(2DK) ・ 40㎡タイプ(2LDK) <b>耐震</b> : キッチン、浴室、トイレ、洗面スペースを設ける <b>天井高さ</b> : 2.1m以上 <b>モジュール</b> : モジュール490mmとする	<b>居室(居間)</b> <b>居室(寝室)</b> <b>居室(洋室)</b>	<b>木製</b> <b>又は 塩ビ製</b>	<b>木製パネル</b> <b>t=8.0以上</b>	<b>カラー合板 t=2.5</b>	<b>カーテンレール(ダブル)</b> <b>レースカーテン</b> <b>透光カーテン</b>				
<b>構造</b> : ・ 木造(在来軸組工法) <b>基礎</b> : ・ 木造 <b>床</b> : ・ 大引105φ@900×根太45×60@450 <b>床</b> : ・ 下地 : 無し <b>屋根</b> : ・ 仕上げ : 新等質(オプショナル)アスファルトシングル表	<b>同上</b>	<b>同上</b>	<b>合板 t=2.5</b>	<b>同上</b>	<b>中嵌付(天板無し)H=800</b>				
<b>壁</b> <b>外壁</b> : ログ幅111以上 <b>内壁</b> : ログ幅111以上 <b>間仕切り壁</b> : 木製下地(30×40 積450 積600) 又は鋼材下地(45×45×45)積450 <b>準耐火壁</b> : 木製下地石膏ボード t=12.5+石膏ボード t=9.5(外壁表まで3世帯毎) <b>グラスウール入り</b> t=60相当 10kg同等品 <b>石膏ボード</b> t=12.5 グラスウール入り(t=60相当 10kg同等品) <b>間仕切り</b> : 木製下地(38×80 積440) <b>コンロ前</b> : けい置カルシウム板 t=4	<b>同上</b>	<b>同上</b>	<b>木製パネル</b> <b>t=8.0以上</b>	<b>同上</b>	<b>遮.白 160(20㎡タイプ)</b> <b>遮.白 100(30㎡タイプ)</b> <b>用戸数 000</b> <b>コンロ台 400</b> <b>バケツガード付コンロ(ケル)付;</b> <b>ガス栓付口</b> <b>遮断/ヒヤ合付</b>				
<b>天井</b> : カラー合板 <b>照明</b> : 引き違い又は片引きアルミサッシ 上段: 遮断ガラスt=4 下段: 隠パネル(出入口) <b>引き違いアルミサッシ</b> 透明ガラスt=3 (取)アミ付 外側鍵具は施装可能とする <b>内装鍵具</b> : 扉扉としてアコーディオンカーテン(単板式)H=1.740、W=800以上とする	<b>浴室</b> <b>ユニットバス 1014 (20㎡タイプ)</b> <b>ユニットバス 1178 (30㎡タイプ)</b> <b>ユニットバス 1218 (40㎡タイプ)</b>	<b>入り口</b> <b>入り口高さ180未満とする</b> <b>但し、180以上の場合は、隠し合を設置する</b>	<b>入口鍵付</b> <b>遮断/ヒヤ合付</b>	<b>手摺: 内部1ヶ所設置</b>	<b>風呂のフタは含む</b>				
<b>採水</b> : 給水設備は水道法の性能基準適合品とする。※工事にあたっては各地方公共団体の指示に従うこと。 <b>ガス</b> : プロパン又は都市ガス供給による住戸毎の集中配管とし、ガス検知警報機及びマイコンメーターを設置する。 <b>給湯設備</b> : 給湯器は燃焼室の指示により、LPガス仕様又は都市ガス仕様若しくは電気仕様とし、給湯能力はガス仕様では16ℓ/分程度、電気仕様では30ℓ/分程度とする。※機種、ポンプ等の仕様、設置方法についてはガス事業者・電気事業者の指示に従うこと。 <b>給湯</b> : 給湯、給湯、台所に給湯器を設置する。 <b>給湯</b> : 給湯を促進する。(シャワーのみの場合はその旨、記載) <b>洗濯機</b> : 洗濯機用の給水、排水設備、乾燥機を設置する。 <b>換気</b> : 換気、浴室、台所に換気扇を設置する。 <b>※台所換気扇は羽根サイズ200mm程度とする。</b> <b>換気</b> : 換気対象として小規模に換気扇を設置する。 <b>工事範囲</b> : 屋外1mまで(プロパンは集合設置を含む)	<b>トイレ</b> <b>木製フローリング</b> <b>木製</b> <b>又は 塩ビ製</b>	<b>木製</b> <b>又は 塩ビ製</b>	<b>化粧石膏ボード</b> <b>t=8.5</b>	<b>カラー合板 t=2.5</b>	<b>木造式</b> <b>手摺付き(積層タイプ)H=700</b> <b>手摺を内側1ヶ所設置</b> <b>食器は洋式</b> <b>ローテーブル(積層タイプ)</b> <b>ペーパーホルダー(t=800)</b> <b>タオル掛け</b>				
<b>電気設備</b> <b>共通事項</b> : 『電気設備に関する技術基準を定める省令(平成九年三月二十七日通商産業省令第5十二号)及び「内務省告示(昭和三十八年12月20日)」に適合している。 <b>電気方式</b> : 単相3線式100/200V 30A とする。 <b>照明器具</b> : 各居室、台所、便所、浴室、玄関に照明器具を設置する。 <b>防犯灯</b> : 各棟に防犯灯2台を設置する。 <b>コンセント</b> : コンセントの形状は日本の形状である。 <b>コンセント</b> : コンセントは、居室、台所に設置し、差込端子は新(体取)である。 <b>エアコン用、冷蔵庫用、洗濯機用、電子レンジ用コンセント</b> については、接地端子付である。 <b>その他のコンセント</b> として、ガス器具用、換気扇用、屋外給湯器用(給水・給湯接地端子付)がある。 <b>エアコン</b> : エアコンを標準仕様として設置し、居室にエアコン用コンセント、エアコン用スリーブを付けている。あいうえお <b>TEL</b> : 通線用(TEL用)スリーブを設置する。 <b>TV</b> : TVアンテナを棟先に設置し、電源を共用回路とするとともに、各住戸に1ヶ所TV端子を設置する。あいうえお <b>火災警報器</b> : 台所、居室に火災警報器を設置する。(台所は熱式、居室は煙式)⇒電気設備に移行 <b>工事範囲</b> : 屋内工事のみ	<b>玄関</b> <b>同上</b>	<b>同上</b>	<b>木製パネル</b> <b>t=8.0以上</b>	<b>同上</b>	<b>足ふきマット</b>				
	<b>備品</b> <b>給湯機</b> : 各住戸1ヶ所設置 <b>標準品</b> : 各住戸1ヶ所設置(200×300) <b>耐震養生</b> (衝撃ワイヤー) : 1ヶ所/14時間を標準とする) <b>防犯灯</b> : 各棟1ヶ所設置 <b>防犯灯</b> : 各住戸1ヶ所設置 <b>消火器</b> <b>他</b> : 無し(新設のみ)								
	<b>特記事項</b> <b>出入口</b> : 遮り製式設置(別注/外部、裏1ヶ所、内部、積1ヶ所 t=450程度 t=700取付芯)(高耐衝撃はオプション) <b>合板類</b> : 居室に取付の合板類は規制対象外ホルムアルデヒド発散抑制材料 (F☆☆☆☆以上)を使用する(器具及び取付家具を含む) <b>断熱材</b> : 天井(グラスウール 100mm相当 10kg同等品)、床(グラスウール 30mm相当 10kg同等品) <b>耐震性能</b> : 30m/sの風力に加えうる構造 <b>耐震性能</b> : 標準深1mに耐える構造 <b>玄関</b> : 風除室(900×800程度)を設置する <b>玄関</b> : 障子引き t=100 <b>以下の仕様は必要な場合、別途対応する</b> <b>高耐衝撃仕様</b> : 別途仕様による								



# 【応急仮設住宅】ログハウス工法

応急仮設住宅標準図

一般図（組立ハウス）1DK 20m<sup>2</sup>



生活者に合わせたプラン構成  
壁ではなく、アコーディオンカーテンの間仕切りとすることで、状況に合わせて広く使うことのできるような仕様にする事も可能

2戸→1戸に対応できる界壁  
グラスウール(又はジェットファイバー)により、遮音性を高めると共に、長期的に利用するようになったときに、2戸→1戸化に対応しやすいつくりとする。

風通しのいい窓  
北側と南側をあげることでより風通しの良い取捨とする。

玄関デッキ  
玄関デッキは、通りに対しての縁側にもなり、置掛けることができる。

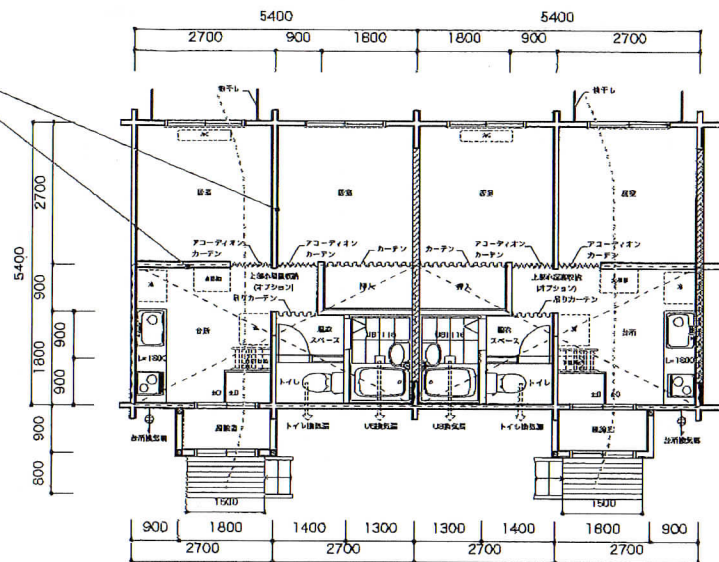
凡 例

- : 準耐火界壁(3世帯毎)  
(小屋根まで)  
(化粧PB9.5+PB1.2.5)X2+グラスウール t=50
- ▨ : 世帯間仕切り(各世帯毎)  
化粧PB9.5X2+グラスウール t=50
- : カーテンレール

- ※ 各室扉はアコーディオンカーテンを原則とする
- ※ 各押入建具はカーテンを原則とする
- ※ 電気分電盤は低く設置 (設置高 FL+1800)

応急仮設住宅標準図

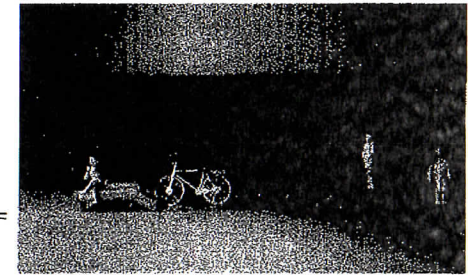
一般図（組立ハウス）2DK 30m<sup>2</sup>



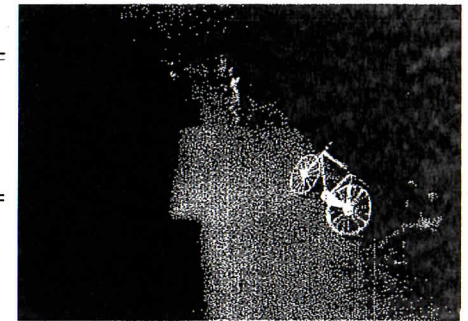
平面詳細図 1/100



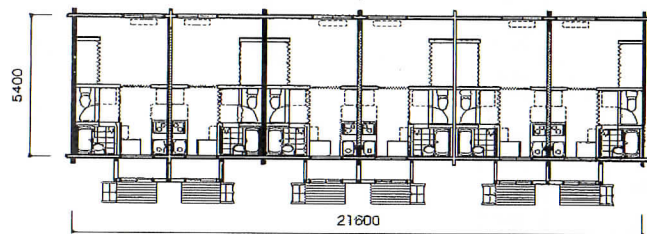
準耐火界壁



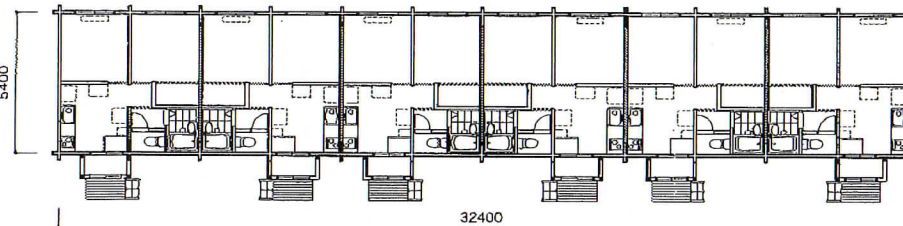
狭しものもてるエントランス空間



通りに対してもログ材が柔らかい印象を与える



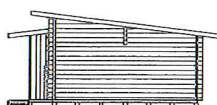
平面図 1/200



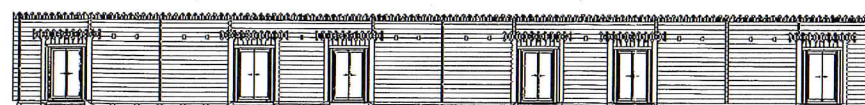
平面図 1/200



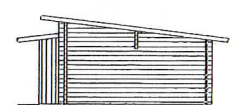
北側立面図1/200



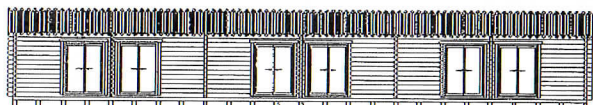
西側立面図1/200



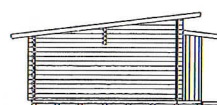
北側立面図1/200



西側立面図1/200



南側立面図1/200



東側立面図1/200



南側立面図1/200



東側立面図1/200